

# 中村設計新聞

## 第四十五号

十一月十五日(土)晴れ  
今回の土曜研修は、午前中の  
所内報告会の後、  
青龍殿、青蓮院を見学しました。



○はじめに

今月は午前中は所内で業務報告会  
を行い、午後からは今年新しく移築  
された青龍殿を見学しました。  
この建物は「平安道場」として京都  
市民に長い間愛された思い出がある  
建物です。

～スケジュール～

所内 報告会

青龍殿見学

青蓮院見学



青龍殿

大舞台は寒い季節に行くところたるな  
高い格天井は威厳あり



### 研修レポート

「青龍殿を見学して」  
紅葉の秋の見学会ではありましたが、  
まず寒さが身体を襲いました。

大正の建物らしく、小屋組はトラス  
構造との事ですが、残念ながら天井が  
張られていて下から見る事はできませ  
ん。しかし、ほぼシンメトリーに構成  
された、道場として使用するための大  
空間は迫力を感じました。

大舞台には少々ガツカリ。見晴らし  
は良いものの、ただデッキを木で造り  
ました、という感じです。舞台構造を  
覗いても、鉄骨にボルトでがんじがら  
め。構造としての木材ではなく、ただ  
木を鉄とボルトでサンドイッチした様  
な雰囲気でした。あれは将来的にどう  
改修するのだろう？木の根継ぎや差替  
えもできず、総入れ替えするのだろう  
か？木造建築のあり方というものを考  
えさせられる一日でした。井澤 弘隆

### 研修レポート

「青蓮院を見学して」  
紅葉周辺の青蓮院は緑から赤にか  
けてのグラデーションが美しく、多  
くの方が訪れていました。宗教的な  
関心よりも、庭園を眺めに来られる  
方が多いようです。

趣のある建物の中、華頂殿の襖絵  
が特に印象的でした。鮮やかな色遣  
いが和風の室内に映え、とてもきれ  
いでした。庭園は日常空間と異なる  
雰囲気、ゆつくりとした時間の流  
れに身をゆだねて、リフレッシュす  
ることができました。

中村 あすか



青蓮院の宸殿。



宸殿から前庭を望む。



華頂殿の襖絵。



アンケート結果  
印象に残った空間はありましたか  
という質問に対して一番多く票を  
集めたところは、今年できた青龍  
殿の大舞台でした。京都市内の全  
景を一目で見られる新しい名所に  
なりそうです。



大舞台でみんなと～写真一発！



京都市内全景

### ○まとめ

午前中の報告会では、限られた時間  
の中で仕事をこなし、建築主に満足し  
ていただき、且つ事務所を存続させて  
ゆくためには、もっと効率良く作業を  
行うことが重要だと再確認しました。  
午後の青龍殿・青蓮院の見学では、背  
景の紅葉が色づきはじめていた風情のある  
建造物の見学ができました。  
京都で建築に携わっていく中で、宗  
教への関心を高めるための、いい機会  
になりました。

